

青年海外協力隊 大河内優さんが、パプアニューギニアに赴任されます

おこうち ゆう

青年海外協力隊は、現在75カ国で2千725人が活動しています。平成22年度4次隊は232人が新たに出發します。このたび大河内優さん(南大中)が、協力隊メンバーとして、2年間パプアニューギニアに赴任することになり、出發を前に町長に表敬訪問をされました。「名前のとおり、人に優しく人のために何かをしてあげたくて理学療法士の仕事につきました。4年間の勤務経験を生かし、ひとりでも多くの人の力となるよう、誇りをもって活動をしていきます」と決意を述べられました。



▲赴任を前に表敬訪問をした大河内優さん

町長は、夢を海外に向けて持てるような子どもたちの希望の星となつてくださるとエールを送りました。

まちづくり講演会を開催しました 「まちで生かすあなたの魅力・わたしの魅力」



▲なごやかな雰囲気の中で語り合いました

2月23日、南部子育て支援センターでまちづくり講演会を開催しました。講演会&座談会方式で、子育て中で一日の大半を町内で過ごしている約20人の方に参加いただきました。神戸市長田区・兵庫区でまちづくりを実践されている状況設計室の山下香さんを講師に迎え、山下さんが地元の仲間と結成している「下町レトロ」に首っ丈の会の活動状況を参考に、参加者は自分たちの得意なことや町への思いを語り合いました。まちづくりは何も特別なことではなく、人とのつながりを大切にして、自分ができること、楽しめることをやっていけば、自分もまちも元気になれることを実感し、また参加者同士の話からも、播磨町にもこんなことがあるのかと再認識できる会となりました。

東北地方太平洋沖地震等への対応について

●播磨町の対応状況

町では、地震発生直後の3月11日午後3時38分に災害警戒本部を設置(午後4時に災害対策本部へ切替)し、漁港ゲートの閉鎖を行い、津波到達時への対応策の実施にあたりました。

- 3月11日
15:30 津波注意報発令 兵庫県瀬戸内海沿岸高さ50cm(17:10到達予測)
15:35 防災安心ネットはりま津波注意報発令伝達
15:38 災害警戒本部設置
15:45 漁港ゲート閉鎖指示
15:56 災害対策本部設置 防災行政無線による放送(海岸部に津波注意)
16:31 防災行政無線による放送(町内全域に津波注意)
17:05 防災行政無線による放送(町内全域に津波注意)
18:00 海岸部パトロール(津波注意)
21:00 災害対策本部を災害警戒本部に切り替え

- 3月12日
09:15 町ホームページ「緊急のお知らせ」
20:20 津波注意報解除
20:40 新島、東新島パトロール

- 3月13日
08:00 漁港ゲート開放指示
09:15 ゲート開放完了
09:20 災害警戒本部閉鎖

●救援物資(防寒着)の募集終了について

町では、県の支援募集にあわせ、東北地方太平洋沖地震により被災された方々の寒さ対策のため、防寒着のご支援を募集させていただきましたところ、多数のご提供をいただきました。

お預かりした防寒着は、3月24日に兵庫県立広域防災センター(三木市)に搬入させていただきました。

多数のご協力ありがとうございました。

●義援金受付

義援金については、役場1階福祉グループ及び住民グループ地域振興チーム並びに各コミセン窓口、中央公民館、町立図書館、総合体育館に募金箱を設置しています。

義援金の領収書について

役場においてのみ、必要な方につきましては「東日本大震災兵庫県義援金募集委員会」の領収書の発行をいたします。

領収書の必要な方は、平日午前8時30分から午後5時15分の間に、窓口にお申し出ください。

▶問い合わせ 危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨ふれあいの家 だより



◀新メニューのグラタン800円 新緑の中のウッドテラスでお召し上がりいただいても結構です。



レストラン「結の里」が変わりました!

子ども(株)田舎暮らしが運営管理を始め72年目を迎えました。「結の里」では、去年は日曜日と月曜日に『お昼のベーキング』を開いておりましたが、惜しまれながら終了とさせていただきます。今度はこの4月よりグラタン、ドリアを中心にメニューを充実させました。しかもリーズナブルなお値段で気軽に食事していただけるように頑張っています! 播磨ふれあいの家より

▶予約・問合せ ☎079(678)1481

わんぱくはりまっ子



いまじ ゆうい 今治 佑維くん(11ヵ月) 南大中

いっぱい食べて元気に成長してね! お父さんお母さんより

楽屋裏

東日本大震災の被害の大きさに胸を痛めています。お見舞い申し上げます。 我が家の子どもたちと震災の話をしました。チェーンメールが届いたり、誹謗や中傷をネットで見かけたり、買いためや買ひ控えなどのニュース、原子力発電所の話がとても気になる様子です。 でも、子どもたちには、あふれる情報の中から、誰がどんな風にかんがっているのかを見つけて出し、記憶に焼き付けてほしいと思います。将来、この記憶をもとに「何かをやる人」になってくれることを願っています。(宮)

いいね! はりま

町政 レポート No.52



▲義援金を受け付けています

毎年今頃は、日本全国が桜の開花を心待ちにし、桜前線の行方が気になる頃ですが、今年の春は日本全体が大きな憂いの中にいます。連日報道される東日本大震災のあまりにも悲惨な光景に、ただただ心痛む毎日です。被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

◆こんな中にも、洋上を漂い3週間ぶりに救助された飼い犬、選抜高校野球での感動の選手宣誓、町民を救うために自分の命を賭して最後まで防災無線で呼びかけた町職員、半鐘を鳴らし続けた消防団員、放射能の被害を食い止めるために不眠不休で危険な任務についている原発関係者や自衛隊員、自らも被災しながらボランティアとして避難所の世話をしている方々、世界各国から寄せられる支援等々、勇気づけられ心温まる感動のドラマがあります。改めて人間の強さとやさしさを感じずにはられません。一日も早い復興を願っています。

◆播磨町でも地震発生後すぐに対策本部を立ち上げ、津波の影響を考慮した防潮ゲートの閉鎖や海面監視などを行いました。わずかな海面上昇はありましたが、幸いにも被害はありませんでした。その後、支援本部を設置し、住民の方々に義援金や支援品を募ったところ、大変多くの善意をお寄せいただきました。順次、県を通じて被災地に送らせていただいております。(4月12日現在4,399,128円)。また、町として別途、被災県に対して300万円を送らせていただきました。現地に派遣している播磨町職員も、厳しい状況下で復旧作業に携わっています。

◆学者の話では、近い将来必ず東海・東南海・南海地震が起きるといわれております。これらが連動して発生する可能性も示唆されています。全戸配布した「防災マップ」も再度ご確認ください。普段からの備えをお願いいたします。

播磨町長 清水ひろ子